⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭63-54030

@Int_Cl_1

識別記号。

庁内整理番号

❸公開 昭和63年(1988)3月8日

H 04 B 7/26

7/04

1 0 4 1 0 6 6651-5K 6651-5K 6651-5K

審査請求 有

発明の数 1 (全7頁)

の発明の名称

H 04 Q

群追跡方式

②特 願 昭61-198439

塑出 願 昭61(1986)8月25日

⑫発 明 者 大 崎

隆昭

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

内

⑪出 願 人 富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

砂代 理 人 弁理士 山谷 皓榮

明細書

1. 発明の名称 群追跡方式

2. 特許請求の範囲

加入者に携帯端末を保持させ、加入者の移動を 許容する移動通信システムにおいて、

複数の加入者を収容して移動する移動体にエリアコードを比較する比較手段(14)と、移動体内ファイル(15)を設け、

加入者及び移動体にはそれぞれそのホームステーションにデータベースを設け、

加入者が移動体に搭乗したときその加入者のデータベースには移動体のホームステーションのファイル位置情報を記入し、移動体のデータベースにはその移動先の位置情報を記入し、移動体内ファイルには移動体に搭乗した加入者情報を記入し、移動体のエリアが更新されたとき移動体のホームステーションのデータベースの位置情報を更新するようにしたこと特徴とする群追跡方式。

3. 発明の詳細な説明

(日次)

概要

産業上の利用分野

従来の技術 (第5図~第8図)

発明が解決しようとする問題点

問題点を解決するための手段(第1図)

作用

実施例 (第2図~第4図)

発明の効果

(概要)

移動体通信システムにおいて、加入者が船舶の 如き他の移動体に搭乗されて移動するような場合、 加入者の管理ファイルに搭乗中の移動体のデータ を記入しておき、この移動体の移動にもとづく位 置情報の管理を移動体に行うようにしたものであ

〔産業上の利用分野〕

本発明は、移動体通信における位置情報の管理 方式に係り、特に個人に付随した通信を可能とす る通信システムで、複数の加入者がさらに移動体 に搭乗して移動する場合の位置情報の管理方式に 関する。

(従来の技術)

例えば自動車電話あるいは個人が携帯する電話 機の如き携帯端末のような移動体通信システムに おけるような位置情報の管理方式では、加入者毎 にホームエリアと呼ばれる専ら利用者が存在する エリアに対応したデータベース上に位置情報が管 理されている。

いま、第5図に示す如く、エリアCをホームエリアとする加入者 c と、エリアDをホームエリアとする加入者 d が、それぞれエリアBをホームエリアとする同一のフエリーの如き移動体 b に搭乗している場合、それぞれの位置情報は、ホームエリアのデータペースに管理されているので、加入

4に伝達され、加入者交換機 2 4のデータベース 3 1 内に加入者 c がエリア B 内に位置していることが記入される。同様にエリア D をホームエリア とする加入者 d が同じ移動体 3 0 に搭乗したとき データベース 3 2 に加入者 d がエリア B 内に位置していることが記入される。

いま移動体30がエリアBからエリアAに移動するとき、第8図に示す如く、携帯端末は無線基地局27から送出され、移動体30で中継されて伝達されるエリアコード(この例ではB)を受信したエリアコードと上をである。とき携帯端末は、受信したエリアコードとしたを明に受信したエリアコードによる。というのは、カーションはそのままである。したのは、携帯端末は無線基地局26から送信されたエリアムまで無線基地局26から送信されたエリアと不一致となるので、「」が出力される。

これにより携帯端末は移動体30に対して位置

者 c、 d がそれぞれエリア B で移動体 b に搭乗したことにより、第 5 図に示す如く、各ホームエリア C、 D のそれぞれのデータベースに位置情報として B を記入する。

そして移動体 b がエリア B より移動して、エリア A に位置したとき、第 5 図及び第 6 図に示す如く、前記各データベースの情報を位置 B より位置 A に変更することが必要である。

従来手法によるネットワークは、例えば第7図に示す如く構成されている。第7図において20、21、22は中継交換機、23、24、25は加入者交換機、26、27、28、29は無線基地局、30はフエリーのような移動体、31は加入者cのデータ管理情報の格納されているデータベースである。

いま加入者 c がフェリーの如き移動体 3 0 に搭乗したとき、エリア B に位置していることを、移動体 3 0 から無線基地局 2 7、加入者交換機 2 3、中継交換機 2 0、 2 1 を経由して加入者交換機 2

登録要求を出力し、移動体30から受付信号が返信されたとき、利用者確認番号(ID番号)と、この携帯端末に個有の電話番号c を移動体30に伝達する。

移動体 3 0 は、これらにより無線基地局 2 6 に対し、同様に位置登録要求を出力し、無線基地局 2 6 より受付信号が返信されたとき、前記 I D 番号、電話番号 c を送出する。無線基地局 2 6 ではこれらを受信して、加入者交換機 2 3、中継交換機 2 0、 2 1 を経由して加入者交換機 2 4 に該位置登録要求と I D 番号、電話番号 c を送出する。

加入者交換機24では電話番号 c により加入者 c のホームエリア C を識別し、その電話番号 c より携帯端末収容端子番号を判別し、また無線 基地局26より移動体30の新位置情報に N を l として加入者 c のホームエリアにおける加入者交換機24により、そのデータベース31内の加入者 c の旧位置情報 c O を新位置情報に N に更新する。

この位置情報の更新したことを示す完了通知が、 データベース31から加入者交換機24に伝達されたとき、この完了通知が前とは逆に、加入者交換機24一無線基地局26一移動休30一携帯端末に伝達されて、位置情報登録の設定が終了する。

なお、移動体 3 0 に他の加入者 d が搭乗しているとき、移動体 3 0 のエリアの移動にもとづき、加入者 d のデータベースにおける位置情報の更新も同様にして行われる。

(発明が解決しようとする問題点)

このように、従来の位置情報の管理は、加入者 毎にホームエリアと呼ばれる、専ら加入者が大部 分の時間存在するエリアに対応したデータベース 上に位置情報が管理している。従ってこのように 移動体に複数加入者が搭乗しているときは各加入 者毎にこれら位置情報の更新を行うことが必要と なり、フェリーや列車の如き多数の加入者が搭乗 しているような場合、移動体の移動先で管理する 加入者交換機と、各加入者に対応したホームエリ

して移動体 b のデータを記入しておく。 そして移動体 b の管理用データベースには、移動体 b の位習情報を記入しておく。

(作用)

移動体 b がエリア B よりエリア A に移動した場合、移動体 b のデータベースには移動体 b の位置 情報として B より A に変更したことを記入されるとき、加入者 c ので のなり、移動体 b ので で サイン を 受して を 受しない で きる。 て 移動体 b の位置情報のみを 更新すればよく、移動体 b に 搭乗している 多数の加入者個々のデータファイルを 更新する必要はない。

(実施例)

・本発明の一実施例を第2図~第4図にもとづき 説明する。 アのデークベースの間で位置情報が飛び交うこと になり、データリンクの能率を低下させることに なる。

また通話路の設定に関しても、加入者単位の情報管理のため、同一方路にもかかわらず群として 管理することができず、制御量の増をもたらすこ とになる。

従って本発明の目的は、このように移動体に複数の加入者が搭乗している場合において、移動体のエリアに変更があっても、その変更の度毎に各加入者のデータベースに変更情報を記入する必要のないようにした群追跡方式を提供することである。

(問題点を解決するための手段)

前記目的を達成するため、本発明では、第1図に示す如く、加入者 c、 d に対する管理用のデータベースの外に、移動体 b に対する管理用のデータベースを設ける。そして加入者 c、 d の位置情報とベースには、それぞれ加入者 c、 d の位置情報と

第2図は本発明の一実施例を示すネットワーク 構成図、第3図は本発明において、移動体に加入 者が搭乗したときの初期登録時の制御シーケンス、 第4図は本発明において移動体の位置情報更新時 の制御シーケンスである。

第2図において、1、2、3は中継交換機、4、5、6は加入者交換機、7は加入者 c のデータ管理が行われるデータベース、8は加入者 d のデーク管理が行われるデータベース、9は移動体 b のデータ管理が行われるデータベース、14は移動体 b に設けられたエリアコード比較部、15は移動体内ファイル16は無線サービスエリア(以下エリアという)A に対する無線基地局、17はエリアB に対する無線基地局、18はエリア C に対する無線基地局、19はエリア D に対する無線基地局、19はエリア D に対する無線基地局である。

なお加入者 c はエリア C をホームエリアとしており、従ってそのデータベース 7 はエリア C の無線基地局 1 8 が接続されている加入者交換機 4 によりリードまたはライトされる。同様に加入者 d

はエリア D をホームエリアとしており、そのデータベース 8 は加入者交換機 5 によりリードまたはライトされ、移動体 b はエリア B をホームエリアとしており、そのデータベース 9 は加入者交換機 6 によりリードまたはライトされる。

そして移動体 b の内部にも、第2図、第3図に示す如く、移動体内ファイル15が設けられる。この移動体内ファイル15は移動体内に搭乗している加入者 c、 d ……の携帯端末のID番号、電話番号 c ′、 d ′……が記入されており、これらをキーにアクセスすることにより移動体 b 内における加入者 c、 d ……の収容端子番号 t p がわかる。

次に本発明における制御シーケンスについて説 明する。

(1)移動体に携帯端末を保持した加入者が搭乗 した初期登録時

第3図に示す如く、携帯端末を保持している加入者 c が移動体 b に搭乗すると、エリアがBに変更されるので、エリアコードがかそれまでのもの

このような初期登録時の設定が他の加入者 d …… …にも同様にして行われる。

(2)移動体の位置情報更新

加入者 c 、 d ……の搭乗した移動体 b が、第 2 図に示すエリア B からエリア A に移動して、無線 基地局 1 6 のサービスエリアに入り、そのエリア と一致せず、以前のエリアコードししと新しく受信したエリアコードPLとの排他的論理和は「 1」となり、携帯端末は位置登録要求を移動体 b に出力する。移動体 b より受付信号が応答される と、携帯端末は I D 番号と電話番号 c *を送出する。

移動体 b では、これにより加入者 c の I D 番号と電話番号 c でもり動体内ファイル 1 5 の収容端子 でも動体内ファイル 1 5 の収容端子 でも動体内ファイル 1 5 の収容端子 で対し位置登録要求を出力する。無線基地局 I 7 に対して移動体 b の I D 番号 I D V と、移動体 b の電話番号 (代表番号) A V と、前記加入者 c の携帯端末の I D 番号と電話番号 c できる。無線基地局 1 7 は、これらにもとづき、加入者 c の携帯端末の I D 番号と電話番号 c で 送出する。

加入者交換機 6 は、直轄のデータベース 9 に対して、IDv、Av、ID、C′を転送する。

コードがそれまでのものと一致しなくなったとき、第4図に示す如く、以前のエリアコードししと新しく受信したエリアコードPLとの排他的論理和は「1」となり、移動体 b は無線基地局 1 6 に対して位置登録要求を出力する。そして無線基地局 1 6 から受付信号が応答されると移動体 b はその I D 番号と電話番号 I D v 、A v を送出する。

このようにして移動体bにエリア更新があって

特開昭63-54030(5)

もこの移動体 b のデータベースのみ位置情報の更 新が行われ、これに搭乗している多数の加入者の データベースは更新されない。

(3)移動体に搭乗している加入者への通信

移動体 b に搭乗している加入者 c に対して通信を行う場合、まず加入者 c のホームエリアにおけるデータベース 8 がアクセスされ、これにより加入者 c の搭乗中の移動体 b の電話番号 t v を得る。これにより移動体 b のデータベース 9 の収容端子番号 t v を得る。これにより移動体 b のデータベース 9 よりその位置がわかるので、無線基地局 1 6 を経由して移動体 b に電話を行い、移動体 b に搭乗している加入者 c と通信を行うことができる。

なお上記説明で移動体がフェリーの例について 説明したが、勿論移動体はこれのみに限定される ものではない。

(発明の効果)

本発明によれば複数の加入者を収容する移動体

第5図は従来の位置情報管理状態の概略図、

第6図は従来の位置情報転送説明図、

第7図は従来のネットワーク構成図、

第8図は従来の位置登録シーケンスを示す。

1、2、3……中継交換機

4、5、6 ……加入者交換機

7、8、9 ……データベース

14 ……エリアコード比較部

15 ……移動体内ファイル

16、17、18、19 無線基地局

特許出願人 富士通株式会社 代理人弁理士 山 谷 晧 榮

を群加入者として位置づけ、個人加入者と同様にその位置情報の管理を行い、個人加入者の位置情報ファイル内には群加入者のホームステーションの位置情報(固定)を格納し、群加入者のそれには、遂時変動される群加入者の位置情報である。従ってもの位置に変更があってもそれに搭乗している。 動体の位置に変更があってもそれに搭乗している 動体の位置に変更があって、だして必ずないので、データ転送量を大幅に減少でき、データリンクの能率を低下させることを防止できる。

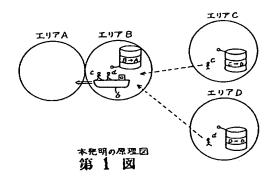
4. 図面の簡単な説明

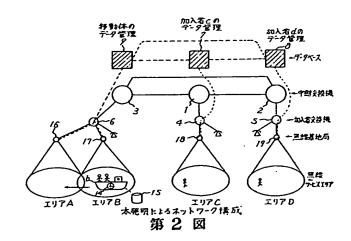
第1図は本発明の原理的説明図、

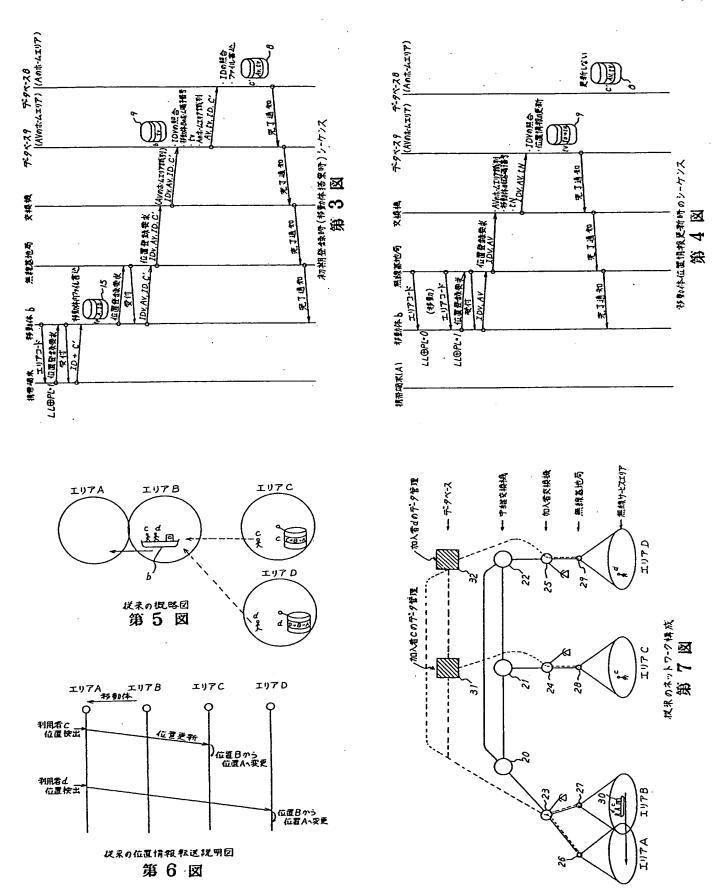
第2図は本発明の一実施例を示すネットワーク 機成図、

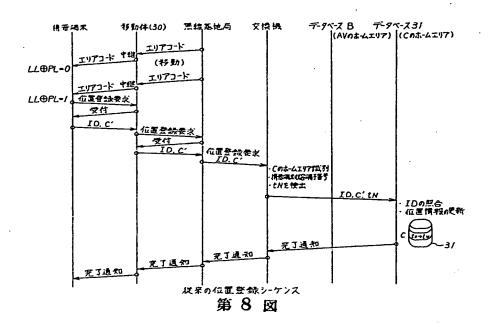
第3回は本発明において移動体に加入者が搭乗 したときの初期登録時の制御シーケンス、

第4図は本発明において移動体の位置情報更新 時の制御シーケンス、









PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-054030

(43)Date of publication of application: 08.03.1988

(51)Int.CI.

H04B 7/26

H04B 7/26

H04Q 7/04

(21)Application number: 61-198439

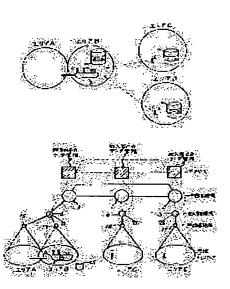
(71)Applicant: FUJITSU LTD

(22)Date of filing:

25.08.1986

(72)Inventor: OSAKI TAKAAKI

(54) GROUP TRACING SYSTEM



(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the reduction in efficiency of a data link by revising only a position information file of a group subscriber attended with the movement of a mobile body. CONSTITUTION: An in mobile body file 15 and an area code comparison section 14 are provided in the inside of a mobile body (b) and ID number and telephone number of a portable terminal equipment of subscribers (c), (d) ridden in the mobile body are described in the file 15. When the mobile body (b) moves from an area B to an area A, the change into the area A from the area B is described to a data base of the mobile body (b) as location information of the mobile body

(b). Thus, in obtaining the location information of the subscriber (c), the storage destination of the data base of the mobile body (b) is obtained from the data base of the subscriber (c), it is read out to recognize the position of the mobile body to call the subscriber (c). Thus, even if the area of the mobile body (b) changes, only the position information of the mobile body (b) is revised.